

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	同志社女子大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ドウシシャジョシダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	近畿地方(大阪府を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップII(社会システム学科・地域情報誌編集)
	学部・研究科等名	現代社会学部社会システム学科
	担当教職員名・役職	三宅 えり子 現代社会学部社会システム学科教授
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	15
	受入企業等数	1
	受入企業等名	株式会社KADOKAWA『関西ウオーカー』編集部
インターンシップの分類	11.その他	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	地域情報誌『関西ウオーカー』の掲載記事編集の実務経験	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい 3.その他
	1-2.該当する就業体験	
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	毎月2回発行される地域情報誌『関西ウオーカー』の11月初旬号における本学とのコラボレーション企画の掲載記事の編集実務を就業体験として経験した。
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	『関西ウオーカー』編集長による編集・企画・紙面レイアウトに関する講義を複数回受け、受講生による掲載候補店舗探しのフィールドワーク、同編集長指導のもと(株)KADOKAWA関西オフィスでの企画案の発表・決定、紙面レイアウトの作成・入稿・校正・校了の、地域情報誌編集に必要な一連の業務を体験した。完成した記事は、『関西ウオーカー』11月初旬号に掲載された。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学科科目「応用各論科目」の中の「キャリアデザイン科目群」の選択科目の1科目である。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している 3.その他

	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップ中は、学内での編集作業は毎回担当教員が同席してモニタリングを行い、(株)KADOKAWA関西オフィスにおける企画案の発表・決定にも担当教員が同行してモニタリングを行った。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	(株)KADOKAWAには守秘義務遵守の誓約書を提出し、地域情報誌編集の心構え、『関西ウオーカー』誌の記事の多角的分析と他誌との比較研究、成果目標と教育目標・効果、掲載候補店舗探しのフィールドワークの実施要領などについて、授業期間中に4時間をかけて説明を行い受講生のインターンシップに対する理解を促した。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	おもに夏季休暇中に行った掲載候補店舗探しのフィールドワーク(30時間)についてのレポート作成・提出、編集作業全般に関する振り返りレポートの作成・提出、インターンシップ授業最終回での発表、および、学科主催のインターンシップ報告会での発表を行った。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	各受講生の掲載記事編集の進捗状況についてその都度確認を行った。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	教育効果測定の一部として、受講生企画による『関西ウオーカー』誌の掲載記事(完成品)に関して、『関西ウオーカー』編集長自ら各受講生の独創性・リサーチ力・紙面レイアウト完成度・講義理解度の評価を行った。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ実施前後のレポート、フィールドワーク・レポート、および完成品としての掲載記事の評価を通して、受講生の意識や行動の変容、教育的効果について確認を行った。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している 4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	事前・事後学習を合わせて60時間を確保した。
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	地域情報誌編集というインターンシップの内容上、学内での編集・企画・紙面レイアウトに関する講義と作業、企業訪問((株)KADOKAWA)と企業での企画案のプレゼンを組み合わせた。
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前指導、学内での編集・企画・紙面レイアウトに関する講義と編集作業、掲載候補店舗探しのフィールドワーク、企業訪問((株)KADOKAWA)と企業での企画案のプレゼン、事後指導の一環としての記事紹介スポット訪問と訪問記録および発表を含めて60時間を確保した。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとつての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	(株)KADOKAWA『関西ウオーカー』誌と本学のコラボレーション企画は、女子大生の視点を活かした記事作りができ、読者層拡大につながる。また紙面づくりに関しては、『関西ウオーカー』編集長が直接受講生の指導に当たることによって受講生の専門的スキルの習得につながり、大学からの支援とあわせて目標達成に導くことができる。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://kyomu-web.dwc.doshisha.ac.jp/cam3/slbsbdr.do?value(risyunen)=2018&value(semekikn)=1&value(kougicd)=421303&value(crclumcd)=999999999
問い合わせ	大学等名	同志社女子大学
	担当部署名	現代社会学部事務室
	担当者役職名	

口 わ せ 先	担当者氏名	
	電話番号	0774-65-8543
	メールアドレス	gensha-t@dwc.doshisha.ac.jp